

教育警察委員会の概要(教育)			
開催年月日	令和7年7月7日	開会、閉会時間	13時35分から 14時29分まで
委員の出欠	出席：今井(政)委員長、森(治)副委員長 伊藤(正)委員、村下委員、伊藤(秀)委員、加藤委員、水野(吉)委員、 今井(瑠)委員 欠席：なし		
(付託案件の可否)			
(予算)	議第62号	令和7年度岐阜県一般会計補正予算のうち歳出予算補正中教育警察委員会関係	(可決)
(条例その他)	議第72号	スクールバスの取得について	(可決)
	議第73号	スクールバスの取得について	(可決)
	議第74号	県立高等学校体育館の空調機の取得について	(可決)
	議第75号	パーソナルコンピュータの取得について	(可決)
	議第76号	パーソナルコンピュータの取得について	(可決)
	議第77号	パーソナルコンピュータの取得について	(可決)
(質疑の内容)			
発言者	発言内容		
【6月補正予算】			
水野(吉)委員	高校生等奨学給付金の申請はいつから始まるのか。		
教育財務課長	高校生等奨学給付金の申請はこれから受け付ける。		
水野(吉)委員	高校生等奨学給付金の支給金額が当初予算額から引き上げられるが、既に支給した給付金に追加で差額分を支給するのか。		
教育財務課長	当初予算分も含めてこれから申請を受け付けるため、対象者には差額分ではなく全額を支給する。		
加藤委員	授業料等は、本来いつ支払うものなのか。		
教育財務課長	学年によって違うが、例えば4・5月分を6月に、7・8月分を9月に支払うといったように、条例で定められている。		
加藤委員	授業料は、一旦保護者が立て替えて支払い、その後、支援額が補填されるということか。		
教育財務課長	今年度は、授業料の納期限を9月まで延長している。8月末までに収入判定をするため、高校生等臨時支援金の対象になる場合は、授業料を支払う必要はなくなる。		
【条例その他】スクールバスの取得について			
水野(吉)委員	車両を購入するにあたり、最近納期の遅れや価格の高騰があると聞いているが、その影響はあるか。		

特別支援教育課長	履行期限は、例年、年度末に設定しており、落札業者からは期限までに納入可能であることを確認している。価格について、大型バスは例年並みであるが、中型バスは昨年度より約80万円上昇している。
【条例その他】 パーソナルコンピュータの取得について	
今井(瑠)委員	県立高校を訪問した際に、Wi-Fi環境が悪いといった意見を聞くが、Wi-Fi環境の整備状況と今後の整備予定は。
教育財務課 施設整備監	学校からそのような意見があるのは承知しており、日々改善に努めている。まずは事業者と協議して状況を見極めながら、必要に応じて改善していく。
今井(瑠)委員	学校現場では、Wi-Fiの速度が遅いため、私用のスマートフォンを利用するなどの影響があると聞いている。本来はデジタル化したいのに、できない現状があることを重く受け止めてほしい。
加藤委員	取得するパーソナルコンピュータについて、指導用タブレット及び校務用パソコンに比べて児童生徒用タブレット等の履行期限を遅く設定しているのはなぜか。
教育財務課 施設整備監	児童生徒用タブレット等は、周辺機器の各種設定に時間がかかるため、履行期限を遅く設定している。
加藤委員	タブレットは、型落ちするとすぐに価格が下がる。履行期限までの期間が長いと、差額が発生することになるが、そうした事情も考慮した契約金額になっているのか。
副教育長	委員ご指摘の懸念は承知しているが、契約金額及び履行期限は、契約する時点において、仕様上の物品を納入するために必要な金額及び期限であることをご理解いただきたい。
【報告】 令和6年度岐阜県一般会計繰越明許費繰越計算書	
	(質疑なし)
【報告】 令和6年度「清流の国ぎふ」創生総合戦略実施状況報告書	
今井(瑠)委員	「高校で学んだことを生かした職業に就きたいと思う、職業教育を主とする専門学科で学ぶ生徒の割合」は、どのように集計したのか。
教育総務課 教育主管	県立高校2年生にアンケート調査を実施した結果である。例えば、機械科の生徒であれば、機械科の学習内容に応じた進路を希望する生徒の割合を算出している。
今井(瑠)委員	高校2年生時点で希望する進路のことよりも、農業科を卒業した生徒が本当に農業関係の職業に就いたのかなど、その先を追求ことの方が大事だと思う。
加藤委員	そもそもKPIとしてふさわしいのかが疑問。専門学科に入学した生徒が、その分野の職業に就くことは、その生徒にとって良いことなのか。むしろ、専門学科で学ぶことで、自身の適正がどうなのか、違う分野に進むべきなのか、といった気付きがあることの方が大事だと思う。
教育総務課 教育主管	専門学科の生徒は、後にその分野に進むことを目指して入学する生徒が多いことから、このKPIを設定している。入学後に自身のビジョンを考える機会は重要であるため、専門高校において、学科ごとの募集ではなく、学科群で募集することで、生徒が1年生で広く学んだ上で、2年生で学科を選択するような取組みを進めている。

【陳情】 県内施設改修工事についての陳情	
	(質疑なし)
【その他】	
村下委員	先日の一般質問では、県立高校における給食の導入について知事が答弁したが、教育長としての見解は。
教育長	答弁にもあったとおり、本格的に導入する場合、「学校給食衛生管理基準」に基づく衛生管理が必要となり、財政的に苦しい中、工事費が1校あたり2億円を超える見込みのため、現実的に難しいところはあると考えている。ただし、高校生の朝食の欠食率が約25%あり、家庭の事情等によって昼食を十分に摂れない生徒もいるため、今後、購買など様々な選択肢について、それぞれの地域や学校規模に応じた方法を考えていきたい。
今井(瑠)委員	県立高校のあり方の検討について、現状どうなっているか。
教育総務課長	今後15年かけて急速に子どもの数が減っていく中、今の学校規模を維持できるのか、普通科と専門科のバランス、地域の実情、学校施設の老朽化等の問題を考えていかなければいけない。以前も議会で答弁したとおり、今年度から、様々な関係者から意見を伺いながら進めていきたい。
今井(瑠)委員	例えば、検討会を今後何回開催する予定かなど、詳細を知りたい。
教育総務課長	検討会については、関係者から意見を伺いながら、適切な形で開催できるよう検討しているところ。然るべき時期に、各委員にもご意見を伺いながら進めたい。
今井(瑠)委員	なるべく周知期間を確保し、混乱のないよう進めてほしい。
加藤委員	少子化が進み、高校の数が減少する場合、今、採用されている教員はどうなるのか。
高校教育課長	今後、学校数が減る場合は、それに伴い教員の数も当然減っていくことになる。教員の採用数については、数年先を見据えて適切な数を決定しており、任用された教員がきちんとお勤めいただけるよう、引き続き採用計画を立てて進めていく。
伊藤(正)委員	県立高校における給食の導入を含め、一般質問において、本来であれば教育委員会として考えて教育長に答弁していただくべきものを、知事が答弁している。教育の課題に対してどう対応するかは、まず教育委員会として議論することが優先ではないかと思う。その上で、知事部局と協議することを否定するものではないが、教育委員会としての方向性はしっかり持っていただきたい。
教育長	2月以降、知事とは様々なことについて何度も議論している。15年後の県立高校の未来について、教育委員会としての思いは様々なものの、一般質問では、県議は、20年ぶりに交代した知事のお考えを伺ったものと理解しており、それに対して知事は、ご自身の経験などを踏まえながら答弁された。委員ご指摘のとおり、教育に関することは、教育委員会として方向性を議論し、それを知事と協議するよう進めていきたい。